

2021年4月1日  
日本生命保険相互会社

## 2021年度 入社式 社長挨拶

日本生命保険相互会社（社長：清水博）は、2021年4月1日に入社式を行いました。  
社長挨拶の主旨は以下のとおりです。

### <日本生命の未来>

本日から皆さんと一緒に日本生命のこれからを作っていきます。皆さんが日本生命の未来を皆さん自身の力で作っていくのです。これが、本日の話の中で最も覚えておいていただきたいことです。

これからの生命保険事業は少子化や人口減少により厳しくなると言われていますが、私たち自身の努力によって、いかなる環境においても発展する日本生命を作ることができると思っています。全ての人が、安心して安全な人生を送るために、十分な備えを行いたいというニーズは強く、これからも高まっていくと思います。日本生命は130年間以上にわたり、お客様に安全・安心という価値を提供してきました。これからも私たちが努力を重ね、お客様の広がるニーズに十分応えることができれば、生命保険マーケットは拡大し、日本生命は成長していくと信じています。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、生命保険の販売に影響が出ていますが、対面とデジタルを自在に組み合わせお客様にサービスを提供する仕組みを、この一年で作りあげました。

これからも日本生命は、営業職員チャネルを事業の中心に、お客様のご要望に応じてデジタルでのコミュニケーションも自在に行う活動モデルに移行していきます。この新たな営業職員チャネルがお客様との絆を一層強くし、日本生命の未来を背負っていきます。

今年度から新中期経営計画が始まります。この3年間で、人とサービスとデジタルでお客様と社会の未来を支え続ける企業グループになりたいと思います。皆さんも今日から、この新中期経営計画を実行する一員です。これからの皆さんの活躍に大いに期待しています。

### <皆さんに心がけてほしいこと>

#### (1)「お客様本位の仕事」に徹する

常に、お客様の利益にかなっているかということ、考え方と行動の中心においてください。そのために、「お客様の利益を最優先とする“信念”」を持ち、「お客様の声に寄り添い、真摯に対応する“誠実”な姿勢」で「お客様のために不断の“努力”」を行ってください。

こうした活動に徹することがお客様との信頼の絆を作り、その絆を深めることとなります。

## (2) 失敗を恐れず、変革へ挑戦する

前例にとらわれない、柔軟な発想を積極的に発信し、変革へ挑戦していただきたいと思います。

ものごとを大きく変えるだけが、変革ではありません。日常における小さな気づきや、改善がとても大切で、それを積み重ねることで、大きな変革に繋がっていきます。若いころからデジタルに慣れ親しんでいる皆さんだからこそその気づきがあると思います。日々の仕事の気づきを勇気を持って発信し、仕事のやり方を変えることにチャレンジしてほしいと思います。

目の前の仕事に懸命に取り組むことに加え、担当領域以外にも関心を広げてください。違う部署や違う会社の仕事内容に関心をもち、積極的にコミュニケーションをとることで視野が広がり、アイデアの幅も広がります。そして、アイデアを形にし、発信していただくことを期待しています。

## (3) 仲間を大切にし、チームで仕事をする

一人だけで完結する仕事はありません。どの仕事も、他の方が担う仕事や、別の部署の仕事とつながっています。それが積み重なり、会社全体の大きな仕事になっていきます。チームで仕事することで仕事の質が上がり、一人でやるよりも大きな仕事ができます。チーム内で議論を重ね、協力し、助け合い励まし合うことで、連帯感が強まります。仲間を大切にし、チームで仕事をする、このことを常に意識して、行動していただきたいと思います。

## <日本生命は人>

日本生命は人で成り立っている会社です。人は力、人が全てです。日本生命は、皆さんの成長をあらゆる面でサポートしていきます。皆さんは、一人ひとり“個”有の強みや魅力を持っています。ご自身の能力と可能性を最大限に発揮してください。それが皆さん一人ひとりの未来と、日本生命の未来を力強く作っていく原動力であると、私は確信しています。

私と一緒に、日本生命の素晴らしいこれからを作っていきましょう。

以 上